

- Analysis 24-26 June 1985.
- Errico, R.M., 1990: An analysis of dynamic balance in a mesoscale model. *Mon. Weather Rev.*, 117, 558-572.
- Gal-Chen, T., 1983: Initialization of mesoscale-models: The possible impact of remotely sensed data. *Mesoscale Meteorology: Theories, Observations and Models*, D.K. Lilly and T. Gal-Chen, Eds., Reidel, 781 pp.
- Ghil, M., S. Cohn, J. Tavatzis, B. Bube and E. Isaacson, 1981: Applications of estimation theory to numerical weather prediction. *Dynamic Meteorology: Data assimilation Methods*. L. Bengtsson, M. Ghil and E. Kallen, Eds., Springer-Verlag, 330 pp.
- Golding, B.W., 1990: The Meteorological Office mesoscale model. *Met. Mag.*, 119, 81-96.
- Gustafsson, N., 1990: Sensitivity of limited area model data assimilation to lateral boundary condition fields. *Tellus*, 42 A, 109-115.
- Hollingsworth, A., 1987: Objective analysis for numerical weather prediction. *Short- and Medium-Range Numerical Weather Prediction*. T. Matsuno, Ed., Meteorological Society of Japan. 831 pp.
- Kuo, Y.H., D.O. Gill and L. Cheng, 1987: Retrieving temperature and geopotential fields from a network of wind profiler observations. *Mon. Weather Rev.*, 115, 3146-3165.
- Kuo, Y.H. and Y.R. Guo, 1989: Dynamic initialization using observations from a hypothetical network of profilers. *Mon. Weather Rev.*, 117, 1975-1998.
- Lorenc, A.C. and O. Hammon, 1988: Objective quality control of observations using Bayesian methods: Theory and Practical implementation. *Q.J.R. Meteorol. Soc.*, 114, 515-543.
- Talagrand, O., 1985: The adjoint model technique and meteorological applications. *Proceedings of ECMWF Workshop on High Resolution Analysis 24-26 June 1985*.

## 「合同大会」開催の案内

### 講演企画委員会

来る4月上旬に地球惑星科学関連学会の第2回合同大会が開催されます。これまでにも総会および本誌にて話題になることがありましたので御存知の方も多いたは思われますが、念のため、合同大会について紹介しておきます。

日本における地球科学関連の学会は、それぞれの専門分野毎にこまかく分れているのが現状です。しかし、昨今の地球環境問題の高まりにも関連して、各分野間の壁を乗り越えようとする動きがあります。気象関係では、気候に関連する分野どうしで交流が活発になってきているのは周知の通りですが、一方、固体地球を対象とする分野どうしでも交流が盛んになっています。

この情勢を受けて、固体地球関連の5学会、すなわち地震学会、火山学会、測地学会、地球電磁気・地球惑星間物理学学会、地球化学会らはそれぞれの春季大会を同一場所にて開催し、共通の話題については共通セッションを実施するなど、5学会間の交流を試みています。その第1回の合同大会の試行は、昨年の4月上旬に東京工業

大学にて行われました。当然ながら、合同大会のメリット、デメリットがあるようですが、3回試行を行った上で、続行するかどうかを決めることになっています。

我が気象学会は、全面参加は難しいので、適当な共通テーマがある場合には共催シンポジウムなどを開催するという形で対応することになっています。来る合同大会では、別記(??ページ)のように、「オゾン研究の展望」というテーマで、部分的に参加します。関心ある気象学会員の多からんことを期待しています。

名称：地球惑星科学関連学会1991年合同大会

日時：1991年4月2日(火)～5日(金)

場所：共立女子大学八王子校舎(東京都八王子市)

案内：JR中央線高尾駅、無料スクールバスあり

(10分)

問合せ先：木田秀次(気象学会講演企画委員会)

気象研究所(つくば市長峰1-1)

Tel. 0298-51-7111)